理事会便り

2015 年度第 4 回理事会（9 月 29 日 13 時～15 時 30 分　本部会議室）

議決事項

１．事業所閉鎖基準の制定

事業所の赤字が長年続いた場合に、再建計画を持って組織的に取り組むこと、やむなく閉鎖を判断する場合の基準を設定しました。

２．デイみのり再建計画

3 年間赤字が続いているため、今年度中に再建するための「再建計画」を決めました。

報告事項（主な報告より抜粋）

1. 厚木森の里の事業所開設について

ダイヤモンド地所が開設する高齢者専用マンションに、訪問介護事業所を開設するための賃貸契約の内容について確認しました。

2. 給油カード管理基準について

通所事業所の送迎車両の、給油のために使用している給油カード管理基準の内容を確認しました。

3. 実務者研修・認知症介護実践者研修の支援制度の新設

研修修了者に対し、祝い金 1 万円を支給するなどの支援制度について確認しました。

2015 年度第 5 回理事会（10 月 29 日 13 時～15 時 30 分　本部会議室）

議決事項

1.　役員退任慰労金規則の改定

常勤職員退職慰労金支給内容とのバランスを考慮し、常勤役員の支給額を引き下げるための改定を議決しました。

報告事項（主な報告より抜粋）

1. 常勤職員退職慰労金規程の改定について

退職慰労金が、勤続 5 年以上同額となっている規定を、勤続 20 年まで引き上げるなどの改定を確認しました。

2. 事業所周年行事に対する対応基準の制定

事業所の周年行事の取り組みに対し、事業所間の「金品」のやり取りを禁止としつつ、財政支援制度などの支援制度を確認しました。

経営報告

（9 月末現在の累計実績）

◎ 組合員数　104 名増、2,536 名
◎ 出資金額　50.6 万円増、3,364 万円
◎ 利用高　9 月実績　3,757 万円
　累計予算比 1009%、前年比 99.9%
◎ 経常剰余　累計実績　－492 万円
　予算比　＋361 万円

かがやいて

神奈川高齢者生協機関紙 2015 年 11 月号　NO.165
発行責任者　吉田　隆幸

〒231－0047
横浜市中区羽衣町 2-7-10 関内駅前マークビル 5 階
Tel045-663-8825　Fax045-662-9662
kanagawa-coop@kanagawa.koureikyou.or.jp
神奈川高齢者生協　検索

◆　10～11 月は全国生協強化月間　◆

100 人の新規組合員増と 100 万円の増資に取り組んでいます!!

再度、組合員の皆様へのお願い

出資金の増資とお仲間増やしにご協力下さい。

■ 出資金って何だっけ？

組合員の皆さんからお預かりしている出資金は、生協の経営基盤を安定して支える最も大切な資金です。新たに事業所を開設したり、事業所の古くなった設備や備品を取り替えたりする時にも出資金を運用させて頂いております。

神奈川高齢者生協の事業所は、開設して１０～１５年となってきており、設備・備品の更新が必要となっています。出資金はいつでも増資できますので、是非とも、この生協強化月間の機会に増資をお願い致します。

■ 増資の目標はあるの？

生協では、当面の一人当たり出資金目標を１４，０００円とし、一人でも多くの組合員に、増資を呼びかけます。この機会に１口の出資金の方は、５口を目標に増資をお願いします。

■ 減資は出来るの？

出資金は生協の運営に欠かせない大切なものです。そのため、生協法の規定に基づき、出資金を引き出す場合は、１年に１回、１２月末日までに減資の手続きをして頂き、年度末の３月末に指定口座への振込みとさせて頂いております。

■ 組合員へのお誘いをお願いします。

生協は、助け合いの組織です。また、仲間と一緒に興味・関心のあることを生協の事業所を拠点に活動することが出来ます。生協を利用されていて、まだ組合員になって頂いていない方の、生協へのお誘いを進めましょう。

生協の本部や事業所などで、一緒に活動する仲間を増やしましょう。

戦後70年・平和の手記

「横浜大空襲」

中村順子氏（藤沢）より寄稿

朝、学校へ行こうと思っていた時に、警戒警報のサイレンが鳴ったので自宅待機をしていた。4月に憧れの平沼高女（旧神奈川県立第一高等女学校）に入学できた私は、学校へ行くのを楽しみにしていたのだが、それも適わずに、二階の窓から空を眺めた。

すると何時もは目の前を横に飛んで行く敵機が、今朝は斜め右前方に編隊が見え、まともに私の方へ向って来るではないか。何時もと違う様子に、何かただならぬものを感じ、近くにいた母に、「今日は何時もと様子が違う」と言ったその瞬間、「ダッダッ・・・・・・」一瞬物凄い地響きと物凄い音、この時が、約四十万発の焼夷弾がB29の敵機から落とされた瞬間だった。

家の中に落ちた焼夷弾の火を、懸命に母と若い看護婦のAさんと、Aさんのご主人になる吉田さんと、私と4人で必死になって消して、全部一応消し終えて、ホッとしたのも束の間、廻りを見ると、廻りの家からは、紅い炎が軒先から吹き出て、黒い煙も吹き出て来ている。母も「もう駄目！逃げましょう。」と皆頷いて表へ出る。表は逃げ惑う人で一杯。母と私は共に家を出て、黒い人波に押されて、川沿いに、山手の方へ向った。一緒に来たはずのAさんと吉田さんの姿はもうなかった。まっすぐに人波に押されて進んできた私達は、山手の方からも大勢の人達が上から来るので、何処へ逃げたらよいか判らず、どうしようと迷っていた時、そこが我が母校・横浜小学校の裏門の近くで門の傍で、「そこにいる人達！早くこっちへいらっしゃい。」と手招きして呼んで下さったのは、懐かしい井上幸八校長先生ではないか。私は無意識に母の手を引っ張り強引に校舎の中へ飛び込む。これが運命の別れ道で、私達は紅蓮の炎に耐えて無事に生き残れたが、真向かいに同じような校舎「専修女学校」があり、そこへ逃げ込んだ人達は、校舎が焼け落ちて、皆様亡くなられた。一晩経ち、猛火がおさまり、外へ出た時には、黒焦げの死体が散乱し、川の中も黒焦げの屍体で真黒だった。

「水仙の思い出」

森本玲子氏（寒川町）より寄稿

学校生活が楽しく、山を登り、下り3ルートの山坂を毎日クラスメートと楽しく往復していた通学路は、今でも眼に浮かぶ。夏は臨港電車で乗り継ぎ、漁師の漕ぐ木造船に乗って、扇島へ水泳の練習に行った。

テレビで綺麗なダリアの花を紹介されて、思い出したのは水仙の球根の事件。大昔のことだ。私が小学6年から、戦死した兄の代わりに養女として高円寺に転校した。それは大正12年から昭和3年迄、ドイツヘレンズの研究のためにいっていた叔父の家での出来事。陸軍技師だった叔父の勤め先で、少しばかりの牛肉が配給になったらしい。それでカレーライスを作ろうと思っても玉葱がない、庭の水仙の根を代わりに作って下さった養母は、料理が得意だった。玉葱もなく、キャベツなど30分も並んで、1／4買うような時代を思い出す。庭の水仙の根を掘り出して、ライスカレーを作って下さった。

さあ大変、ひどい嘔吐と下痢に家族は苦しんだ。

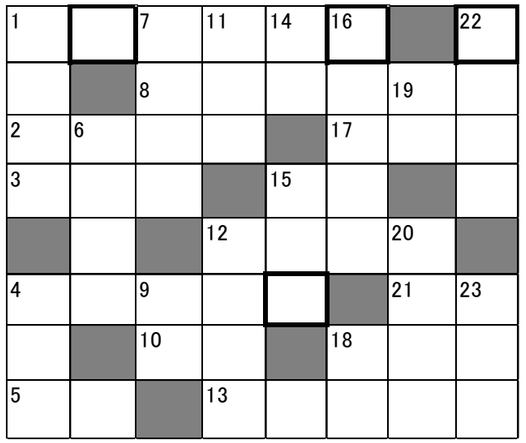
時々テレビで軍事訓練のような放映を見て、軍需工場で青春時代を送らざるを得なかった取り戻せない年月を思い出し、平和を守る力を、若者と一緒に強めて行かなければならないと思う。しかし、家族は健康のことを思って、行進も無理だと言う。

遺骨も拾えない海に散った次兄を思い出して。

戦争は絶対反対！

クロスワード　さあ！頭の体操ですよ！

作者　よみびとしらず



今月は中級問題かも･･･テーマは「身体」

太枠の4文字で、言葉を創って下さい。
締め切りは11月末（消印有効）

解答を、葉書か FAX045-662-9662 で本部までお送り下さい。

お便りや趣味の作品の投稿も合わせてお寄せ下さい。

正解者には抽選で、5 名様にクオカードを差し上げます。

9月号の正解は、「アイガーキタカベ」でした。

たくさんの方からお送り頂き、ありがとうございます。

抽選で5名様にクオカードをお送りさせて頂きました。

ヨコのカギ

1. 運動したり緊張すると増えます。
2. 行きは動脈、帰りは静脈、総称して。
3. 耳を英語で。
4. 銀行、自分専用、指静脈認証もあるよ･･
5. 夜切ると親の死に目に会えなくなると言われました。
8. 都市化が進んだ現代において、口承されている話、たいていは嘘。
10. リハビリ機器、チョッと重くしたり、圧力をかけたりすることを、〇〇をかけるとも言います。
12. 店舗で入手困難になっている状態。
13. 通信衛星を利用した携帯電話のシステム。原子番号 77 の金属元素。
15. 唾はどこに塗る?狐や狸にだまされないように･･
17. 紙で作る絵。
18. 古くなった赤血球を壊す臓器。
21. 年を重ねると髪の毛の〇〇が白に変わる人が多い。

タテのカギ

1. トランプゲームで、〇〇〇〇衰弱。
4. 過疎の反対。
6. 光の反射を抑える塗装。
7. おまわりさんが乗っています。
9. 被災者への義援金は、確定申告すると〇〇金控除が受けられる。
11. いろいろ試したり、考えたり、苦労する。〇〇〇に〇〇〇を重ねる。
12. 海の深いところ。
14. 武器を持たず〇〇で戦う。
15. 目を〇〇〇とも言う。
16. 電車やバスが止まること。
18. メジャーの田中投手もここを手術するらしい。
19. 市場でよくやられています。
20. 食べ物を消化する〇〇液をつくり、十二指腸に送り出す臓器。〇〇臓。
22. （2の回答）に流れています。
23. 報酬を得るために働くこと。労働に関する事務

連載四

私の故郷・ふるさと・古さと・旧さと

皆さんのふるさとをご紹介下さい！どしどし投稿をお待ちしております。

故郷・平塚市田村

今回はたむらパワリハクラブにご参加下さっている方の輪に入らせて頂き、田村の移り変わりについてお話を伺いました。

30 年ほど前の田村の記憶をたどると・・・

田畑が広がるその向こうに霊峰富士、丹沢連峰、大山が雄大に広がる景勝地だったそうです。

皆さん、子育て真っ最中、景色は良い所だけれど、買物するお店が無くて、とてもお困りで、自転車にお子さんを乗せ、遠くまで買出しに行かれたり、お店が近くにないために、車の免許を取った方もいらしたようです。

たむら付近は、大きな道路の新道 129 号線と旧道が通っています。バスは 1 時間に 1 本くらいしかなかったから不便だった、お中元や、お歳暮などの贈答品も駅まで出ないと揃わない等、生活するには少し不便のようでした。

そこに、コープかながわの小型店（閉店後現在のたむら）が出店し、とても重宝し、通われたと伺いました。

人に歴史あり、たむらにも歴史あり！
今後も地域に重宝されるたむらを目指したいと思います。

高麗山（こまやま）

高麗神社の社殿

聖天院の山門

写真と絵図は平塚探検隊　平塚おもしろ地名学より引用させて頂きました。

東海道五十三次　平塚宿絵図

「孫の手」紹介

川崎中部ヘルパーステーション

川崎市幸区鹿島田 1-7-24　Tel044-542-1066

川崎中部の孫の手グループは男性 4 名、女性 2 名の 6 名で活動を行っています。

草取りや庭木の剪定をメインに、窓拭きやお部屋の清掃などを行っています。

登録されている利用者の方は、約 90 名いらっしゃいますが、今年度は 9 月末の時点で、40 数名の方が利用されており、4 名の新規利用者の方が増えました。

9 月・10 月は除草・剪定の依頼も増えており、計画を超える勢いです。

引き続き、元気に活動して行きたいと思います。

関さん　須田さん　小和瀬さん　水上さん

庭の手入れが好きな方、余暇を福祉活動に使ってみたい方、一緒に働いてみませんか？
去年は 2 名の方がメンバーとなり活躍されています。

所長　小池一成

＜女性メンバー＞
佐々木さん、安藤さんは主に室内清掃などを行っています。

ゆきげ紹介シリーズ

「ゆきげ」が運営する仏壇ギャラリーをご存知ですか

神奈川県内 20 生協の
葬祭サービス「ゆきげ」

「ゆきげ」の仏壇ギャラリーは、新横浜と大和にあり、現代のライフスタイルにマッチした様々な仏壇を扱っています。写真は壁に掛けるタイプの仏壇です。その他にも裁縫箱のような形で持ち運びできるタイプなどもあり、施設に入所予定の方が買い替えるケースもあります。スタッフは「つかず・はなれず・おつしけず、聞けば知識豊富」をモットーにしていますので、押し付けもなく安心です。お線香の取り扱いも充実しています。
なお、クレジットカードも利用できます。

ギャラリーメモリアゆきげ　新横浜（10 時～ 19 時、年中無休）
☎045（473）0534　横浜市港北区新横浜 3-17-2　友泉新横浜ビル B1
ギャラリーメモリアゆきげ　大和（10 時～ 18 時、毎週金・年始定休）
☎046（200）1504　大和市大和南 1-5-14　永和大和ビル 2F

ケアステーションいたど通所事業所

伊勢原市板戸 477-21　Tel 0463-95-6878　Fax0463-95-7610

自宅で出来る楽しい体操

利用者の方が日々元気に過ごし、来所して頂くために、5 月から腕、脚の関節と、上半身を動かす、いたど通所独自の体操をスタッフで考案し、実施してきました。特に、ご自宅で出来る事を念頭に、簡単と安全に配慮し「ウサギとカメ」の歌に合わせて出来るようにしました。いたど通所で毎日実施、今では「もう一度」「肩こりが楽になった」「覚えた動きだけ繰り返して自宅でやった」など嬉しい声も聞け、これを励みにこれからも続ける事を決めました。皆様も「暑いから」「疲れたから」「寒いから」などと言って横にならずに、少しずつ身体を動かしましょう。運動は元気を作る源と信じて頑張りましょう！

大津ケアステーション元気

横須賀市大津町 2-14-10　Tel 046-838-5705　Fax046-833-5950

お陰様で 10 周年、ありがとうございます!!

利用者の方によるクス玉割り

普段行なっている DVD の骨骨筋肉体操を、スタッフのコスプレで「骨骨筋肉体操」を披露。

看護師による大正琴の演奏

お陰様をもちまして、大津ケアステーション元気は、10 周年を迎えることが出来ました。日頃の利用者の方や、スタッフはじめ関係者の皆様のお陰と感謝しております。今まで本当にありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願い申し上げます。
「敬老の日」と合わせて 9 月 21 日から 24 日までの 4 日間イベントを企画し、利用者の方と一緒にお祝いをし、催し物で楽しみました。　所長　宮内　涼子

本部主催　介護実技研修 2 回開催しました。第 1 回利用者の全人的理解のための傾聴･コミュニケーション技術、第 2 回認知症の方への効果的なアプローチ

第 1 回に参加して

【ケアステーション希望　松岡隆子】

介護の仕事だけでなく、日常生活についても心がけたいと思った。利用者の方とのコミュニケーションのとり方、具体的に学ぶことができた。心をこめて真剣に聞き取ること、未完了感を持たせないこちらの姿勢等が大事。

【ケアステーションたむら　神明定子】

相手の要望や言いたいことに心から耳を傾け、受止める態度、努力することを再認識しました。介護者として相手の立場に立って考え、援助できるよう常に意識してやっていこうと思いました。研修内容について話し合いの場を持ち、実践できるようにしたい。

【さがみはらケアステーションあやとり　衛藤美幸】

訪問の限られた時間の中で沈黙を待つことや、相手の言葉をさえぎらないことなど、むずかしさはつきませんが、体と心を傾け、しっかり聴いて記憶・記録することで利用者の方の気持ちの変化に気づけるように、コミュニケーションを実践して行く。

第 2 回に参加して

【川崎中部ヘルパーステーション　鈴木初枝】

認知症の利用者の方に関わっていますので、即、活かしていきたいと思っています。

【デイあやとり　渡邉真寿美】

認知症は症状が進んでも「声」は聞き分けられるそうです。優しい声でコミュニケーションをとることが大切で、安心して通所介護へ来られることを第一に考え仕事をしていきたいです。

「コグニサイズ」などのレクリェーションも積極的に取り入れたい。一人ひとりに合った配慮が必要なので「脳トレ個人ノート」など作ってみたいです。全員が知識を共有できるように話し合いが必要と思います。まずは、日頃の会話にも意欲を出していただけるように、意識して安心できる（落ち着ける）対応を心掛け、努力をしたいと思います。